

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31105	キャリアデザインⅢ Career Design Ⅲ	河合龍二・今泉充啓・酒井正二		基礎	1	選択	1後期

科目の概要

言語、数学、一般常識を中心に学修する。就職試験、公務員試験等では、考え抜く力や論理的思考力を問われる。時事問題と関連付けたアクティブ・ラーニングを通して、社会全般について理解を深める。(ディプロマ・ポリシー②④⑤)
*第1週から第3週までは、日本語の語彙力・読解力・表現力の講義・演習を行う。第4週からは、数学の演習、一般常識の知識獲得演習を行う。

学修内容	到達目標
① 就職試験に必要な言語知識や計算方法を理解し、応用力を高める。 ② 就職試験に必要な問題に取り組み、推理・判断力を高める。 ③ 文章問題に取り組み、数式で表す論理力を高める。 ④ 時事問題を調査分析し、その中から課題を発見し、他者に伝達できる。	① 基礎的な問題を、正確かつ短時間で解く力を身に付けることができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ② ブラックボックス等の問題に取り組み、推理・判断力を身に付けることができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ③ 文章問題に取り組み、論理的に物事を考える力を身に付けることができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ④ 時事問題より興味のある問題を見つけ、調査分析し、他者に伝達することができる。(ディプロマ・ポリシー②④⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題に対して受け身ではなく、自ら今やるべきことを選択し、必要に応じて文献等を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	自らやるべきことに対する目標を設定し、具体的に行動し、粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	現状に関心を持ち、自ら現状に対して課題を見つけ、自身の憶測や思い込みではなく事実に基づいた情報を客観的に整理分析し、発見した課題を他者へ示すことができる。
	計画力	
	創造力	既存の物事、出来事にとらわれることなく、新しい事柄を考えていくことができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を他者へ理解してもらえるように、自分の調べたことや考えを整理し的確に伝えることができ、発表時には、発表の仕方を工夫し他者に伝わりやすい発表ができる。
	傾聴力	他者が話しやすいような雰囲気を含め、話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問・あいづちする等行う中で、他者の意見を引き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。毎回プリントを配付するので、各自でファイルを用意すること
参考文献：毎日生じるニュース(時事)全てが参考になる。新聞やWeb等で、積極的に情報収集すること。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：上級秘書士(メディカル秘書)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

就職試験で必要とされる基礎学力を重視する。必ず復習し、身に付けよう。第1～3回は、語彙力・読解力・表現力を身に付けよう。第4回以降は、数学の解法と一般常識を応用した課題解決型の学修を行うので、積極的に参加しよう。	気になった記事について発表する時間を設けるので、新聞やWeb上のニュース記事を読む習慣をつけよう。また、グループディスカッションを取り入れた授業となるので、協力しよう。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱った解法や公式、社会常識と時事問題の定着を確認する。 ・出題の中にpisa型学力を確認する問題も含む。 ・次の到達レベルをもって合格の基準とする。 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を80%程度有する…S 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を70%程度有する…A 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を60%程度有する…B 就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を50%程度有する…C Cのレベルに達してない・・・F		
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
	平常評価	小テスト		30	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱った解法や公式などの定着を確認する。 ・復習を行ったことが分かる解答になっているか、諦めずに問題に取り組んだか、テストに取り組む態度等も含め評価する。 ・出題の中にpisa型学力を確認する問題も含む。 	
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
		レポート			0	①				
						②				
						③				
						④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①				
						②				
						③				
						④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓			（主体性）・課題、提出物について自身で調査・分析を行う等、自己学修ができる。 （実行力）・課題に対する目標を設定し、目標達成に向け途中で投げ出すことなく取り組むことができる。 （課題発見力）・時事問題に対して自ら課題を見付け、事実に基づいた情報を客観的に整理分析することができる。 （創造力）・調査した時事問題に対し、新たな対策などのアイデアを考察することができる。 （発信力）・グループ活動において自分の意見の要点を整理し、他者に伝わりやすいように的確に伝えることができる。 （傾聴力）・グループ活動において発言者に対し「あいづち」や「うなづき」を取り入れ、話を聞く姿勢ができる。 （規律性）無断遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。		
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を80%程度有し、グループディスカッションなどで適切な自己表現と他者とのコミュニケーションが円滑にとれていること。 Aは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を70%程度有し、グループディスカッションなどで適切な自己表現と他者とのコミュニケーションが円滑にとれていること。	Bは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を60%程度有し、グループディスカッションなどで自己表現と他者とのコミュニケーションが成立していること。 Cは、就職試験程度の数学・一般常識・日本語の学力を50%程度有し、グループディスカッションなどで自己表現と他者とのコミュニケーションが成立していること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	語彙力の向上を目標に、一般教養試験対策としても、漢字・熟語・慣用句などの問題に取り組む。 (河合 龍二)	シラバスを参照しながら、講義・演習などの授業の方法と小テスト、予習復習のための課題、評価方法などについて説明する。PCを用いて調べ学習をする。調べた語句は「オリジナル辞書」として、PCフォルダに蓄積していく。(以下同じ)	同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語、慣用句などの演習に取り組む。	(復習) 配付したプリントにより、同訓異字、同音異義、難読語、四字熟語、慣用句など語彙力を身に付ける。	45	実行力 傾聴力 規律性
2	読解力の向上を目標に、一般教養試験対策としても、様々な文章構成について理解する。 (河合 龍二)	講義・演習 授業開始時に「難読語」「慣用句・ことわざ」の小テストを行う。問題の解説・前回の授業の振り返りのフィードバックも行う。	「難読語」「慣用句・ことわざ」の小テストで6割正解する。「SDS」「PREP」「KPT」といった文章構成を知る。	(予習) 小テストの範囲である「難読語」「慣用句・ことわざ」を学修する。 (復習) 就職試験などの文章題を読み、文章構成を指摘し、読解力を身に付ける。	45	主体性 課題発見力
3	表現力の向上を目標に、一般教養試験対策としても、小論文作成の手順や文章構成の方法を学び、問題に取り組む。 (河合 龍二)	講義・演習・発表 授業開始時に課題の「同音異義語」「同訓異字語」「誤りやすい漢字」小テストを行う。問題の解説・前回の授業の振り返りのフィードバックも行う。小論文作成では原稿用紙の使用法、文章構成の方法を学修し、発表する。	「同音異義語」「同訓異字語」を「誤りやすい漢字」小テストは6割の正答率。テーマ型・資料読解型の例題で小論文を完成する。	(予習) 小テストの範囲である「同音異義語」「同訓異字語」「誤りやすい漢字」を学修する。 (復習) テーマ型・資料読解型の例題で小論文の練習をする。	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力
4	就職試験にトライ① 過去のSPI3やSHL社の適性検査等の数理力問題にトライして、現在の自分の位置を知り、今後の目標と目標達成のための作戦を立案する。(〇〇)	テスト・講義・グループディスカッション 授業の方法と小テスト、予習復習のための課題についての説明。	制限時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と理解が不足している分野について明確にすることができる。	(復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと。	45	実行力 課題発見力 規律性
5	就職試験にトライ② 一般常識試験にトライして、現在の自分の位置を知り、今後の目標と目標達成のための作戦を立案する。(〇〇)	テスト・講義・グループディスカッション	制限時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と理解が不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 1週間の中で、自分自身が気になったニュース(時事問題：政治、経済、国際)から1つ取り上げ、それについて概要を調べて、自分自身の考えを明確にしプレゼンテーションの準備をする。 (復習) 授業で扱った問題を自力で解けるように見直すこと。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	就職試験対応力向上Ⅰ 数理領域：義務教育レベルで履修した重要公式・定理の活用	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野と不足している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	就職試験対応力向上Ⅱ 数理領域：適性検査「速度算シリーズ」の根本理解と応用	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	就職試験対応力向上Ⅲ 数理領域：適性検査「割合シリーズ」の根本理解と応用	講義・演習	授業時間中、真剣に問題に取り組むことができ、自分自身が理解している分野について明確にすることができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	就職試験対応力向上IV 数理領域：適性検査 「損益算・濃度算」の 根本理解と応用	講義・演習	授業時間中、真剣に問 題に取り組むことがで き、自分自身が理解し ている分野と不足して いる分野について明確 にすることができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
10	就職試験対応力向上V 数理領域：適性検査 「仕事算・水槽算」の 根本理解と応用	講義・演習	授業時間中、真剣に問 題に取り組むことがで き、自分自身が理解し ている分野と不足して いる分野について明確 にすることができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
11	就職試験対応力向上VI (1)数理領域：適性検査「場 合の数・確率」の根本理解と 応用 (2)社会常識領域：「化学領 域」のポイント整理 (3)時事問題：各自のリサー チした時事問題に関する発表 (プレゼンテーション) (〇〇)	6週目と同じ。	6週目と同じ。	6週目と同じ。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	就職試験対応力向上VII (1)数理領域：適性検査「推 論・ブラックBOX・経路」等 の理解 (2)社会常識領域：「企業・ 組織」の基本理解 (3)時事問題：各自のリサー チした時事問題に関する発表 (プレゼンテーション) (〇〇)	6週目と同じ。	6週目と同じ。	6週目と同じ。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	就職試験対応力向上VIII (1)数理領域：常識試験「図 形の計量シリーズ」の理解 (2)社会常識領域：「社会生 活」の基本理解 (3)時事問題：各自のリサー チした時事問題に関する発表 (プレゼンテーション) (〇〇)	6週目と同じ。	6週目と同じ。	6週目と同じ。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	就職試験対応力向上IX (1)数理領域：常識試験「関 数・数の性質」等の理解 (2)社会常識領域：「ビジネ ストレンド用語」の基本理解 (3)時事問題：各自のリサー チした時事問題に関する発表 (プレゼンテーション) (〇〇)	6週目と同じ。	6週目と同じ。	6週目と同じ。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド 総復習 15回の授業を振り返り、 期末試験に向けた 総復習を行う。 (河合 龍二) (深谷 潤一)	視聴とレポート提出 レポートの内容は、時 事問題に関する意見発 表とする。	期限を守ってレポート を提出できる。	1週から15週の総復習 を行う。	45	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力